

トータルリサイクリングで貢献

高良(馬相南)が会長賞

廃棄物処理業高良(南相馬市、高橋隆助社長)は8



受賞を報告する高橋常務(左)

日までに、本年度のリデュース・リユース・リサイクル推進協議会(会長・細田衛士慶 応大教授)の会長賞を受賞した。

受賞は県内唯一で、同日、高橋秀行常務・環境事業部長らが同市役所を訪れ、桜井勝延市長に受賞報告した。

受賞テーマは、21世紀の資源循環型社会の実現に向けた「トータルリサイクリング・システム」。同社は資源循環型社会の実現に向け、リサイクル可能な廃棄物の資源化のために、廃棄物の収集・運搬、中間処理、再生、石炭代替燃料の製造を行っている。また、各種廃棄物の適正処理、再資源化のほか、社内でもエコ活動に取り組んでいる。震災後も地域復興に尽力している。